

報道関係各位

2022年3月23日
中日本高速道路株式会社 東京支社

**E1 東名 足柄 SA(上下)の駐車マス増設工事が3月31日に完成します
～大型車駐車可能台数が約1.3倍(171台増)へリニューアル～**

NEXCO 中日本 東京支社(東京都港区、支社長・松井 保幸^{まつい やすゆき})が進めてきました、E1 東名高速道路(東名)足柄サービスエリア(SA)(上下)の駐車マス増設工事が2022年3月31日に完成します。

足柄 SA は、大型車エリアが夜間、小型車エリアが昼間に混雑していたため、混雑状況に応じて、大型車と小型車のどちらでもご利用いただける兼用マスを増設しました。また、トレーラーマスやダブル連結トラック優先駐車マスを増設しました。今後も、駐車エリアの混雑緩和を図り、SA・パーキングエリア(PA)の改善に努めてまいります。

■ 駐車マスの増設結果比較

表1 工事前後の駐車マス数の比較

(単位:台)

	足柄 SA(上り)			足柄 SA(下り)			備考
	工事前	工事後	増減	工事前	工事後	増減	
小型車マス ^{※1}	223 [431]	166 [516]	-57 [+85]	275 [325]	331 [517]	+56 [+192]	+37%
小型中型兼用マス	0	72	+72	0	55	+55	
小型大型兼用マス	104	103	-1	25	38	+13	
大型車マス	143	142	-1	211	227	+16	
トレーラーマス ^{※2}	11	13	+2	16	20	+4	
(ダブル連結トラック優先駐車マス)	(0)	(5)	(+5)	(0)	(2)	(+2)	
(ダブル連結トラック予約駐車マス)	(0)	(1)	(+1)	-	-	-	
バスマス	11	22	+11	13	13	±0	
大型車駐車可能台数^{※3}	269	352	+83	265	353	+88	+32%
二輪車マス	10	45	+35	20	48	+28	
障がい者専用マス(小型車)	8	8	0	5	7	+2	
障がい者専用マス(大型車)	3	3	0	3	3	0	

※1 []内の数字は兼用マスを含んだ台数(兼用マス1台あたり小型車2台分としてカウント)。

※2 トレーラーマスには、ダブル連結トラック優先駐車マスを含む。

※3 大型車駐車可能台数には、中型車マスを含む。

同時配付先	国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会
お問い合わせ先 (マスコミ専用)	中日本高速道路(株) 東京支社 広報・CS 課 TEL.03-5776-5257(直通)
お問い合わせ先 (お客さま専用)	NEXCO 中日本お客さまセンター(24時間対応) TEL.0120-922-229(フリーダイヤル) ※フリーダイヤルをご利用になれない場合 TEL.052-223-0333(通話料有料)

【足柄 SA(上り)】

工事前



工事後

小型・中型兼用マス化

小型・中型兼用マス化

バスマスを増設

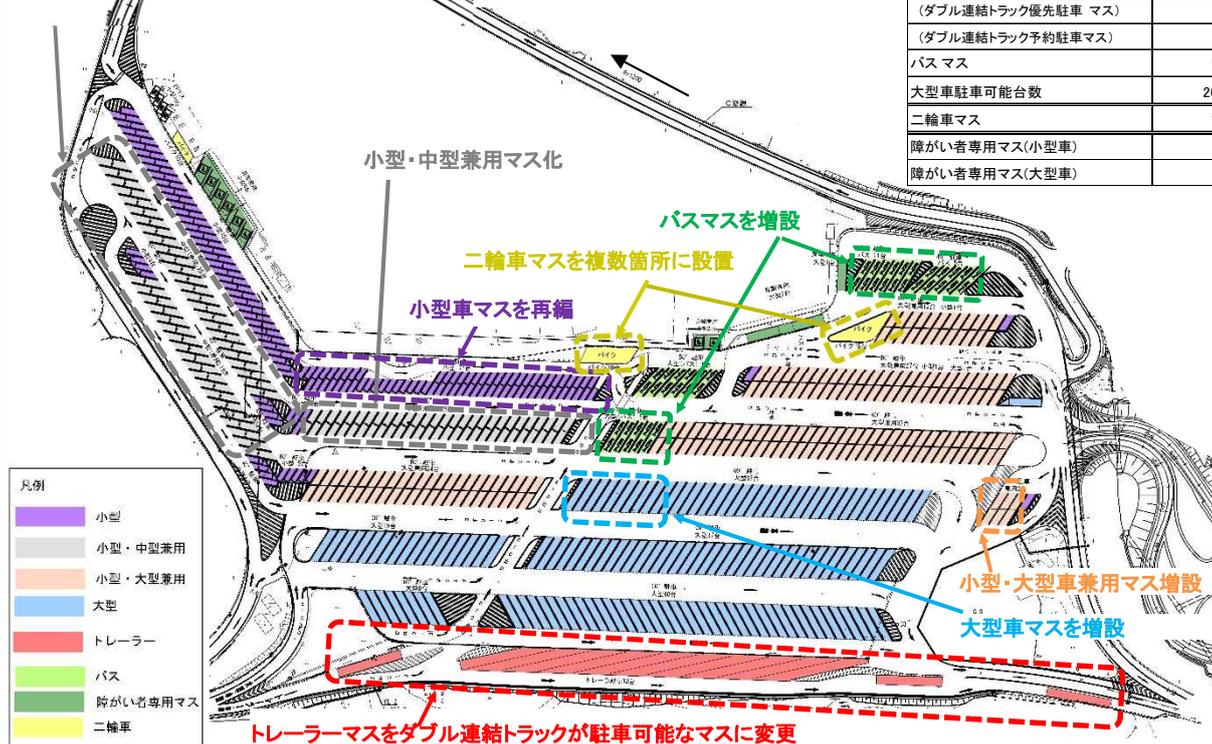
二輪車マスを複数箇所に設置

小型車マスを再編

小型・大型車兼用マス増設

大型車マスを増設

トレーラーマスをダブル連結トラックが駐車可能なマスに変更



	足柄SA(上り)		
	工事前	工事後	増減
小型車マス	223	166	-57
	[431]	[516]	[+85]
小型中型兼用マス	0	72	72
小型大型兼用マス	104	103	-1
大型車マス	143	142	-1
トレーラーマス	11	13	2
(ダブル連結トラック優先駐車マス)	0	(5)	(+5)
(ダブル連結トラック予約駐車マス)	0	(1)	(+1)
バスマス	11	22	11
大型車駐車可能台数	269	352	83
二輪車マス	10	45	35
障がい者専用マス(小型車)	8	8	0
障がい者専用マス(大型車)	3	3	0

図 1-1 足柄 SA(上り)における工事前後の増設図

【足柄 SA(下り)】

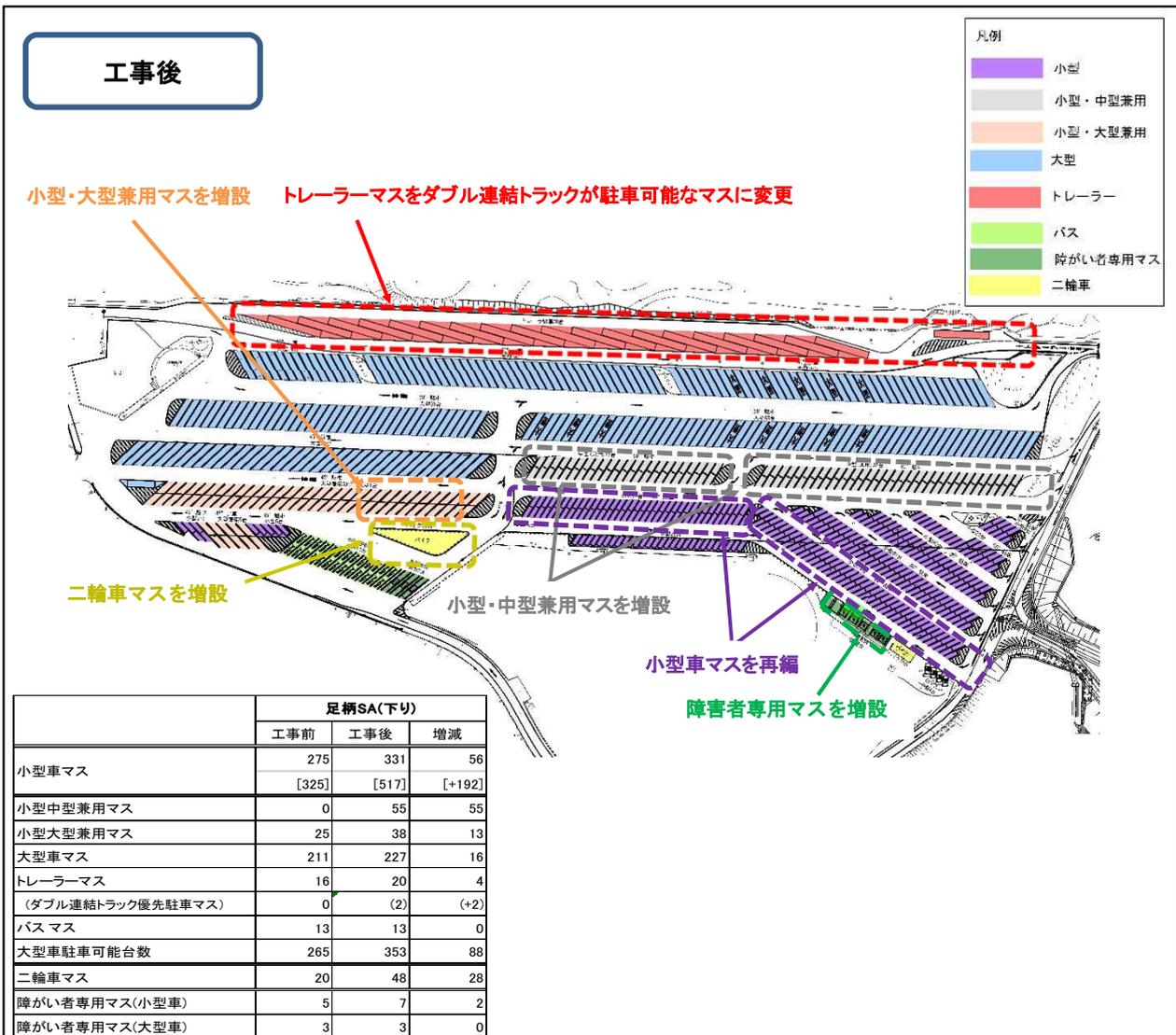
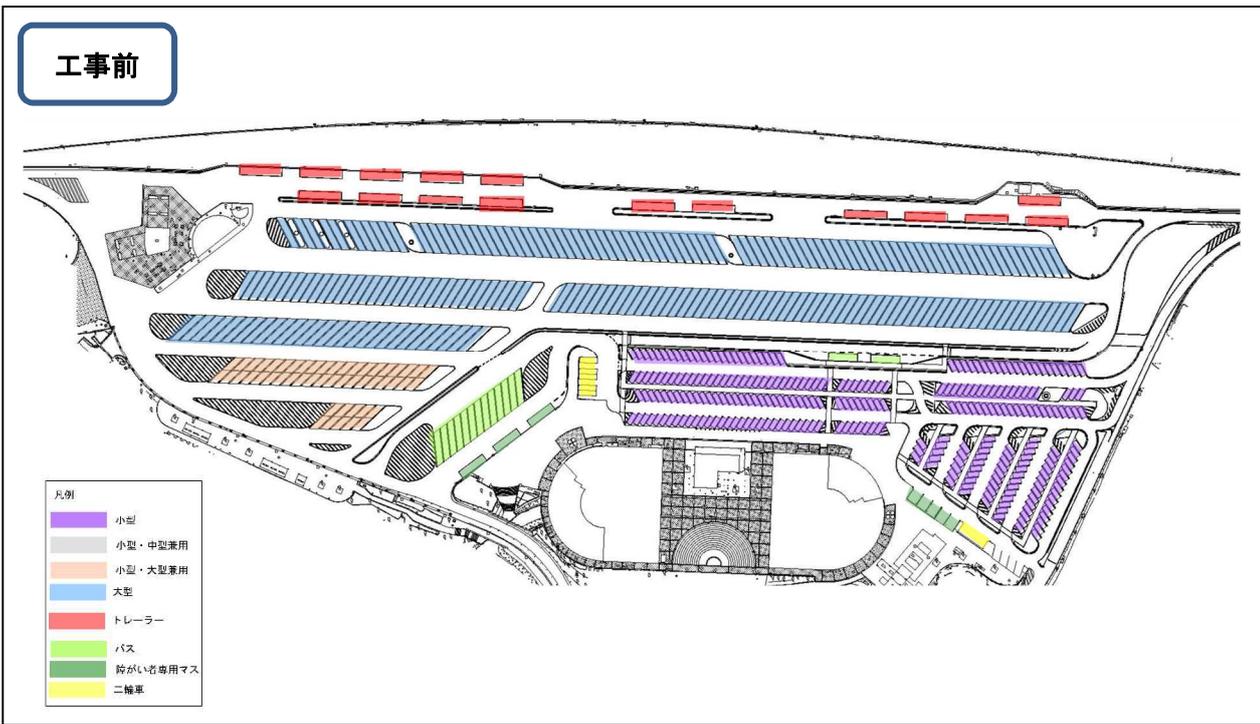


図 1-2 足柄 SA(下り)における工事前後の増設図

■ 駐車マス増設の主な工事内容

1. 駐車エリアを大幅に拡張し、大型車駐車可能台数を約 1.3 倍(+171 台)に増やしました

これまでは、夜間の時間帯を中心に駐車可能台数を上回る車両が滞在しており通路に大型車が駐停車するなど混雑していました。そこで、駐車場のレイアウトを変更し、大型車駐車可能台数を約 1.3 倍(+171 台)に増やしました。

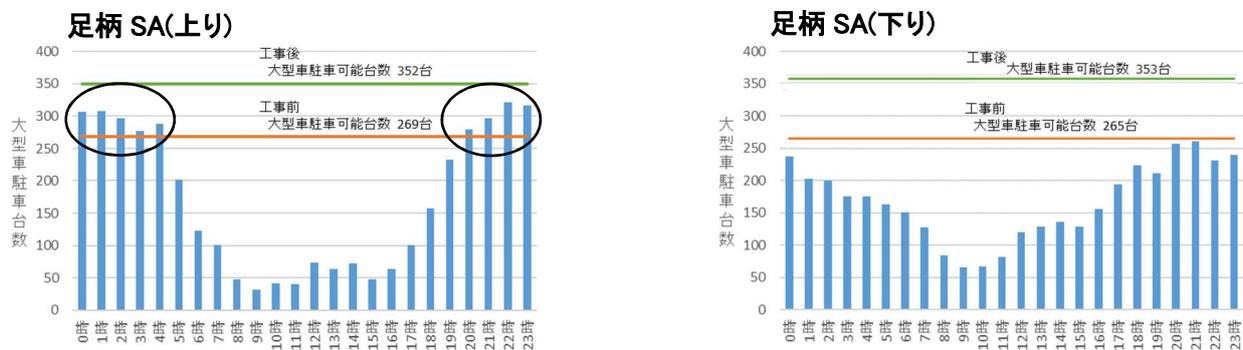


図 2 大型車の駐車状況(平日の例)



写真 1 工事前の車路などへの駐車状況



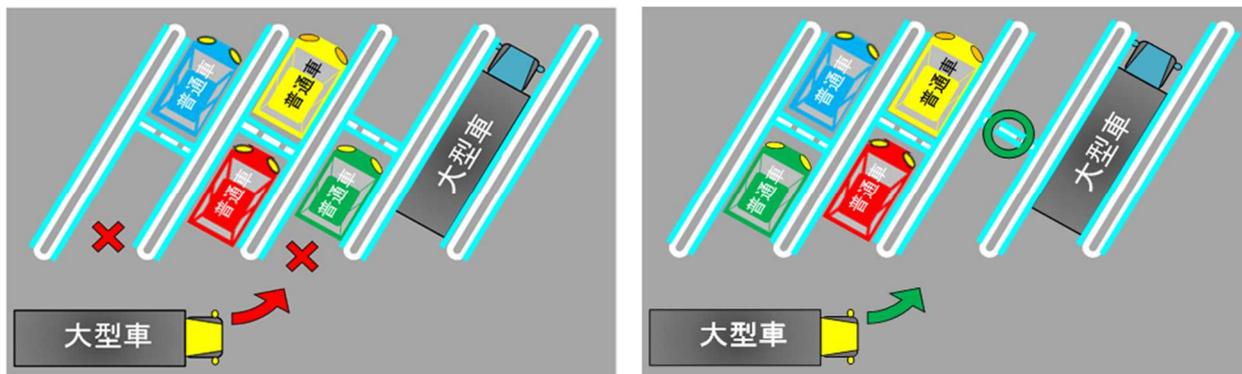
写真 2 兼用マスの完成状況

2. 「兼用マス」を増やしました ～ 兼用マスは青いラインが目印です

限りある駐車エリアを有効にご利用いただくため、混雑状況に応じて小型車と大型(中型)車どちらでもご利用いただける「兼用マス」を増やしました。「兼用マス」は、青ラインで明示しています。

小型車が1台駐車している場合、大型(中型)車は駐車することができません。より多くのお客さまが駐車できるよう、小型車の縦列駐車にご協力をお願いします。

また、小型・中型兼用マスには、小型車と中型車が駐車いただけます。中型車とは車長 8.5m 程度、車幅 2.2m 程度の大きさの車となります。

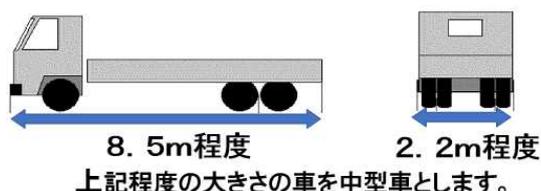


小型車が1台駐車している場合、
大型(中型)車は駐車することができません

より多くのお客さまが駐車できるよう、
小型車の縦列駐車にご協力をお願いします

図3 兼用マスのご利用方法

○中型車とは



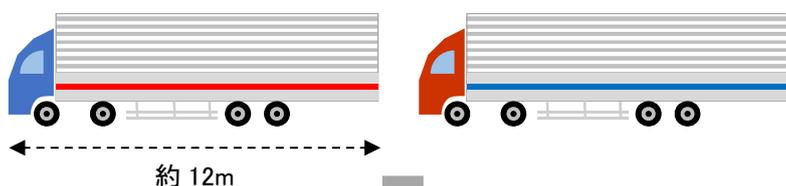
上記程度の大きさの車を中型車とします。

図4 中型車の車長および幅

3. ダブル連結トラック優先駐車マスを整備しました

物流分野における労働力不足や多頻度小口輸送の伸展などを背景とする省力化・効率化・環境負荷低減を推進するため、ダブル連結トラック優先駐車マスを7台整備し、「21m超車両優先」を標示しています。混雑時はダブル連結トラック以外の駐車はご遠慮ください。

通常の大型トラック (10tトラック)



ダブル連結トラック (1台で2台分の輸送が可能)

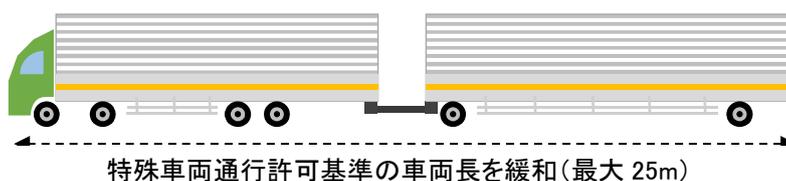


図5 ダブル連結トラック



写真3 ダブル連結トラック優先駐車マスの例

4. 駐車場のレイアウトを変更し、小型車駐車マス数を約 1.4 倍(+277 台)に増やしました

これまで、小型車用駐車マスは前進駐車としていましたが、駐車場から出る際にバックする車同士の事故が発生していたことや、「バックでの駐車の方が止めやすい」といったお客さまの声を反映しました。駐車場レイアウトを変更するとともに、小型車駐車可能台数を約 1.4 倍(+277 台)に増やしました。

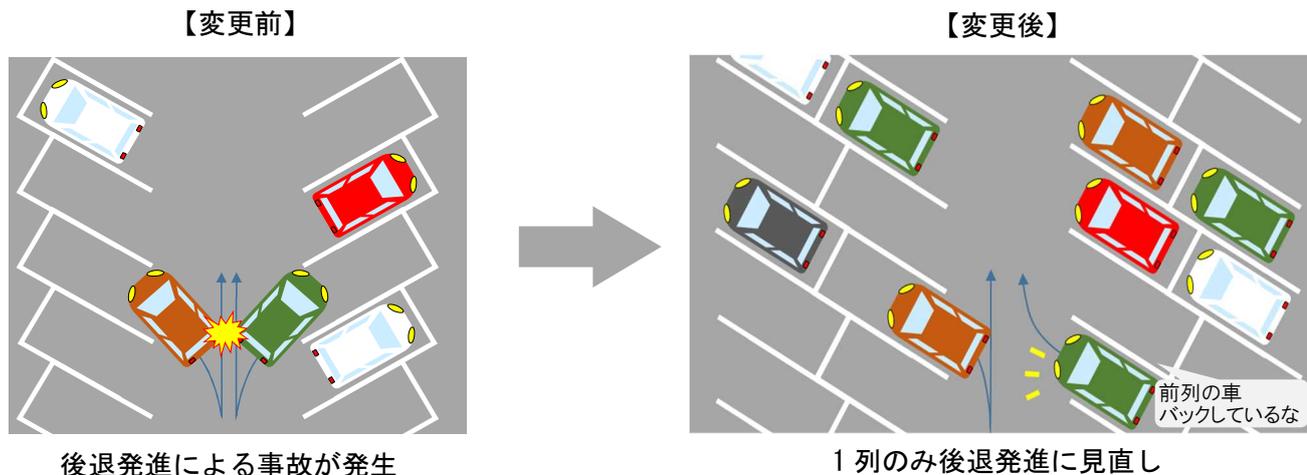


図 6 駐車方法の変更イメージ

5. 上り線でバスマスを 2 倍(+11 台)に増やしました

足柄 SA(上り)は、大型車駐車マスが混雑する時間帯にバスの立ち寄り台数が多いことから、商業施設・お手洗い側の一部園地を駐車マスに変更し、バスマスを約 2 倍(+11 台)増やしました。

6. 二輪車用駐車マスを約 3.1 倍(+63 台)に増やしました

足柄 SA の二輪車用駐車マスは、晴天時などの特定の時間帯に混雑していました。そこで、二輪車用マス数を約 3.1 倍(+63 台)に増やしました。

■ 駐車マナーに関するお願い

○SA・PA では、駐車マスが車種ごとに決められていますので、適正な駐車にご協力ください。

○路肩や SA・PA の加減速車線は駐停車禁止です。案内表示に従って、駐車マス内の正しい位置に停めてください。

○一般の方は、障がい者専用駐車マスのご利用をご遠慮ください(障がい者専用駐車マスは、車いすを利用される方、高齢者、けがをされた方や妊産婦の方など、歩行が困難な方のための駐車マスです)。

○駐車場内での事故防止と安全確保のため、バス専用の駐車マスを設置しています。バス以外の車両のご利用はご遠慮ください。

○SA・PA 内は進行方向が決められています。逆走は大変危険ですので、案内表示などに従ってご走行をお願いいたします。

○「兼用マス」は、小型車、大型車(中型車)それぞれの専用駐車マスが満車の場合にご利用ください。

○多くのお客さまが効率的に休憩をとっていただけるよう、長時間駐車はご遠慮ください。

○交通混雑期などは事故防止のため、誘導員が車種と異なる駐車マスにご案内することがありますので、誘導員の案内に従って走行願います。